

農林漁業現地事例情報「農林水産分野におけるIT活用取組事例」

基本項目

分類	⑧ その他の取組
取組名	ASP方式のインターネット農業簿記（ASP農業財務システム）
取組主体	株式会社オーレンス（北海道・別海町）

取組の概要

IT導入の必要性、導入に至った経緯	株式会社オーレンス（千葉信之社長）は、農業分野に特化した情報化支援企業であり、地域の基幹産業として農業の振興が会社として大きなテーマとなっている。
IT利用により期待される効果・目標	インターネット上で会計データを同社と共有することで、電話やメールを利用し、遠隔地でも経理や経営指導ができ、試算表の作成やチェック・修正なども迅速化され、正確に財務状況を把握し、経営判断に役立てることができる。
IT活用の概要	<p>ASP（Application Service Provider）は、ビジネス用のアプリケーションソフトをインターネットを通じて顧客にレンタルする事業者のことをいう。</p> <p>「ASP農業財務システム」を利用する農家は、インターネットを通じて同社のサーバに接続し、簡単な操作で取引データの入力が可能となっている。</p> <p>平成20年9月始め現在のところ、利用件数は700件以上で同社所在地の別海町のほか全道各地において利用されている。</p> <p>また、このシステムは以下の特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JAの組勘取引データ等の取込みが可能。 ・プログラムのインストール、バージョンアップが不要。 ・パソコンの故障等不具合が生じててもデータは保護される。 ・プログラムを一元管理しているので税制改正等にも素早い対応が可能。 ・OSやパソコンを選ばない。 ・ISDN回線の低速回線でもスムーズな動作が可能。 <p>なお、同システムの利用料は、月額3,000円となっている。</p>
IT利用者の範囲	生産者

ITに関する課題と今後の展開

導入したシステムに関する課題・問題点	<p>同システムの取組地域、特に別海町におけるインターネットのブロードバンド化は、利用者が広域に点在していることから市街地に比較して進んでいない状況にあり、そのほとんどがISDN回線を利用している。</p> <p>このことから、アプリケーションをよりスムーズに使用できる環境をつくることが求められている。</p>
ITに関する今後の取組・展開方向	<p>アプリケーションをよりスムーズに使用できるよう同システムでは、新クライアント技術を導入し、様々な利用者に対応している。</p> <p>また、同町では、広域無線LANの普及を図っており、これによって使用感が改善されるものと考えている。</p>

利用者、(システム) 構築業者の感想 (声)

同システムは、データを同社で管理しているため、利用者からの照会があれば各利用者の担当者が同じ画面を開きながら確認が可能で、直接修正も可能となっていることから、迅速な対応ができる。

また、同社グループには、税理士事務所があり専門家の相談を受けられるため、遠隔地でも安心である。

取組主体の概要

設立年次	平成8年
構成員	11人
主な活動内容	インターネットプロバイダ事業、広域情報ネットワークシステムの企画、基礎整備開発及びインテグレーション提供、マルチメディア・インターネットなどの最新情報システムの地域普及活動及び運用支援、地域各種産業の経営支援ネットワークシステムの企画・開発・提供及び機器操作支援、その他。



株式会社オーレンス
地域農業振興に積極的に貢献しており、最近では「TMRセンターの飼料管理システム」が2008年度の北海道の地域産業IT活用促進モデル事業に選ばれている。



ASP農業財務システム
同社内に設置され、アプリケーションには様々な利用者に対応する新クライアント技術が投入されている。

イメージ図



情報収集官署名：北海道農政事務所 中標津統計・情報センター

連絡先：0153-72-2058